

議題 1

埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進計画の
進捗状況について

- (1) 脳卒中・心臓病等総合支援センターと協働した取組
について
- (2) 各項目の取組実績及び評価について

➤ 各項目の評価(個別)

評価基準		R7年度 県評価	(参考) R6評価
S	「現状と課題」の課題解決のため、十分な取組が実施された	2	2
A	「現状と課題」の課題解決に向けた一定の取組が実施された	62	58
B	「現状と課題」の課題解決には不十分だが、部分的な取組を行った	0	2
C	「現状と課題」に対する取組は不十分であり、状況としても停滞している	0	0
—	評価できない	0	2

(1) 正しい知識の普及啓発

(イ) 県民に対し、循環器病の危険因子や兆候、原因疾患についての普及啓発を図ります。
あわせて、県民に身近な医療機能の充実を図るための研修会等を開催します。

関係課	事業名及び概要	R7年度の取組実績等
疾病対策課	○ 循環器対策推進事業 循環器病に関する知識の普及啓発を目的とし、県民向け公開講座、県広報誌(彩の国だより)への掲載、各種広報誌への掲載、ポスターチラシの作成・配布、県ホームページ・SNS等による啓発を実施。	○ 循環器対策推進事業 ■ 県民向け公開講座(1回・参加者数142名) ■ 県広報誌(彩の国だより)への掲載(11月) ■ 啓発チラシの作成・配布、年1回 ■ 県政広報ラジオ番組での発信(8月、10月) ■ 県ホームページ・SNS等随時更新・発信

(2) 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

ア 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進

医療保険者が行う特定健康診査・特定保健指導など、生活習慣病の予防及び早期発見する取組を支援し、発症予防をするとともに、生活習慣病に限らず循環器病を早期発見するための効果的な取組について検討します。

関係課	事業名及び概要	R7年度の取組実績等
健康長寿課	○地域・職域連携推進事業 保健指導実施者への研修等を実施し、資質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保険者協議会と共同で、保健指導実務者研修会を開催（開催回数：2回 修了者数：106名） ■ 特定健診・特定保健指導従事者スキルアップ研修会を開催予定 ■ 地域・職域連携推進担当者会議（労働局、保険者、保健所）を開催予定
国保医療課	○ 国民健康保険保険給付費等交付金（特別交付金）を活用した財政支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市町村国保の保健事業に係る経費助成、インセンティブを付与するために市町村の特定健康診査の受診率や特定保健指導の実施状況等の取組状況を評価し交付することで、特定健診の受診率の向上などを支援
	○ 市町村に対する指導助言	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特定健康診査の受診率や特定保健指導の実施状況が低調な市町村等を実地で指導・助言（特別指導助言）し、実施率向上等を支援（4市町村）

(2) 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

イ 救急搬送体制の整備

d プレホスピタル・ケア(病院前救護)の充実のために、救急医療情報システムの機能を拡充するとともに、救急救命士の養成に努めます。
 さらに、AEDの一層の設置促進に向けた啓発やAED設置場所についての情報提供等を行うとともに、企業・県民に対し救命講習の受講を働きかけます。

関係課	事業名及び概要	R7年度の取組実績等
消防課	○ 埼玉県メディカルコントロール協議会 救急業務の高度化が図られるよう、救急救命士に対する指示体制や指導・助言体制の調整、救急活動の事後検証に必要な措置に関する調整、研修等に関する調整を行う。	■ 第1回埼玉県メディカルコントロール協議会 (令和7年11月19日開催) ■ 第2回埼玉県メディカルコントロール協議会 (令和8年3月開催予定)
医療整備課	○ 救急医療情報システム機能強化費 救急隊からの受入要請時に活用できる、動画や画像、チャットの送信機能を新たに追加することにより、円滑かつ迅速な救急搬送体制の確保を図る。	■ 令和6年度末に運用開始 ■ 医療機関、消防本部へのアンケートやヒアリングを実施、運用保守予算の範囲内で機能改善を行った。
薬務課	○ AED普及推進事業 突然の心停止から県民の尊い命を救うため、AEDの設置促進、救命講習会の受講促進など、AEDの普及を通じて県民の救命意識及び心停止者の救命救急の向上を図る。	■ GIS(地理情報システム)におけるAEDマップの公開 ■ AED普及啓発リーフレット 50,000部作成 (令和7年10月) ■ 設置済み施設に対する適正管理の勧奨 ■ 24時間利用可能なAEDの設置促進

(2) 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

ウ 医療提供体制の整備

(ア) 脳卒中

(a) SSN等の連携体制を整備するなど、救急搬送体制の充実とともに救急隊と医療機関との連携強化を図り、速やかに専門的な診療が開始できる体制の構築を促進します。

関係課	事業名及び概要	R7年度の取組実績等
消防課	○ 埼玉県メディカルコントロール協議会 救急業務の高度化が図られるよう、救急救命士に対する指示体制や指導・助言体制の調整、救急活動の事後検証に必要な措置に関する調整、研修等に関する調整を行う。	■ 第1回埼玉県メディカルコントロール協議会 （令和7年11月19日開催） ■ 第2回埼玉県メディカルコントロール協議会 （令和8年3月開催予定）
医療整備課	○ 埼玉県急性期脳卒中治療ネットワーク(SSN)の整備 急性期脳梗塞治療(t-PAや血栓回収療法)を実施可能な医療機関を確保し、脳卒中治療に係る搬送体制を確保する	■ 医療機関及び消防本部に対して、SSN対象患者の予後調査を実施。

ウ 医療提供体制の整備
 (イ) 心血管疾患
 (a) SAN等の連携体制を整備するなど、救急搬送体制の充実とともに救急隊と医療機関との連携強化を図り、速やかに専門的な診療が開始できる体制の構築を促進します。

関係課	事業名及び概要	R7年度の実績等
消防課	○ 埼玉県メディカルコントロール協議会 救急業務の高度化が図られるよう、救急救命士に対する指示体制や指導・助言体制の調整、救急活動の事後検証に必要な措置に関する調整、研修等に関する調整を行う。	■ 第1回埼玉県メディカルコントロール協議会 （令和7年11月19日開催） ■ 第2回埼玉県メディカルコントロール協議会 （令和8年3月開催予定）
医療整備課	○ 大動脈緊急症治療ネットワーク(SAN)の運用 緊急の外科手術の必要性の高い事案を見分ける観察基準の作成、観察基準に合わせた医療機関リストの見直し	■ 消防本部に搬送実績調査を行い、それを踏まえ、参加医療機関に予後調査を実施した。年度内にネットワークの検証を行うための作業部会の実施について調整を進めている。

(2) 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

エ リハビリテーション等の取組

a 患者数の急激な増加が予想される「心不全」への対応として、心血管疾患に関するリハビリテーションの理解を深めるための、医療従事者等に向けた研修会を実施します。

関係課	事業名及び概要	R7年度の取組実績等
疾病対策課	○循環器対策推進事業 生活期を支える介護職向け研修等を実施。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 循環器対策推進事業 脳卒中・心臓病等総合支援センターとの共催により、以下を実施。 <ol style="list-style-type: none"> ① 生活期を支える介護職向け研修（参加者 166名） ② 比企・秩父・北部地域の医療機関の看護職、かかりつけ医を中心とした勉強会を開催予定（3月） ■ 循環器病対策推進協議会(心疾患部会)等での協議

b 二次保健医療圏ごとに地域リハビリテーション・ケアサポートセンターと協力医療機関などが連携した体制の整備を進めます。

関係課	事業名及び概要	R7年度の取組実績等
地域包括ケア課	○ 地域包括ケアシステム広域支援事業 地域リハビリテーション支援体制を整備するため、リハビリ専門職の質の向上や市町村支援を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ■ リハビリ専門職に対する研修を実施 年度末までに7回実施見込 ■ 地域リハビリテーション・ケアサポートセンターを県内10か所に委託し、市町村事業への派遣調整や相談業務を、年度末まで順調に実施見込

(2) 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

オ 後遺症を有する者に対する支援

c 循環器病の後遺症を有する者に対する福祉サービスの提供を引き続き推進するとともに、失語症者に対する意思疎通支援や高次脳機能障害に対する支援体制の強化、てんかん患者が地域において適切な支援を受けられるような取組を行います。また、循環器病の後遺症等に関する知識等について普及啓発を行います。

関係課	事業名及び概要	R7年度の取組実績等
障害者福祉 推進課	○ 高次脳機能障害者支援事業費等 ・高次脳機能障害者支援センター(総合リハビリセンター内)による総合相談窓口設置及び高次脳機能障害に対する普及啓発 ・総合リハビリテーションセンター(障害者支援施設)での障害者支援法による自立訓練(機能訓練)、自立訓練(生活訓練)、就労移行支援サービスの提供等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総合相談窓口総合受付件数 R7(11末現在) 3,324件 ■ 委託医療機関での相談受付件数 R7(11末現在) 155件 ■ 障害者支援施設利用者における高次脳機能障害者の状況(R7.11末現在) 自立訓練(機能訓練)23人/48人中、 自立訓練(生活訓練)17人/17人中 就労移行支援19人/21人中(R7.11末現在)
疾病対策課	○循環器病の後遺症等に関する知識の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県民向け公開講座を実施(参加者144名) ■ 県広報誌(彩の国だより)への掲載、 ■ 県ホームページ・SNS等により啓発

(2) 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

カ 緩和ケア

c 多職種連携や地域連携の下で、循環器病患者の状態に応じた適切な緩和ケアについて、医師や薬剤師、看護師等に対する循環器病の緩和ケアに関する研修会等を実施することで、専門的な緩和ケアの質や緩和ケアの提供体制の充実を図ります。

関係課	事業名及び概要	R7年度の取組実績等
疾病対策課	○ 緩和ケアに関する研修会の実施	<p>■ 循環器対策推進事業</p> <p>脳卒中・心臓病等総合支援センターとの共催により、以下を実施。</p> <p>① 生活期を支える介護職向け研修（参加者 166名）</p> <p>② 比企・秩父・北部地域の医療機関の看護職、かかりつけ医を中心とした勉強会を開催予定（3月）</p> <p>③ 薬剤師を対象とした薬薬連携に関する研修会を2月に開催予定。</p> <p>○ 脳卒中・心臓病等総合支援センターにおいて、看護職対象の人生会議（ACP）に関する勉強会を実施。</p>

(2) 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

キ 社会連携に基づく対策・患者支援

c 円滑な在宅療養への移行のために、在宅医療を担う医療と介護の関係機関相互の連携強化や在宅医療に関わる医療・介護従事者の人材育成を行います。

関係課	事業名及び概要	R7年度の取組実績等
高齢者福祉 推進課	○ 医療・介護連携強化対策事業 医療関係者と介護支援専門員等が連携を深め、地域包括ケアの推進に必要な知識の習得と技術の向上を図ることを目的とした研修会の実施	■ 「在宅医療研修会」(受講者 198名) ■ 「医療・介護・福祉の連携に関する研修会」(受講者 68名) (対象者)医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員、行政関係職員等
医療整備課	○在宅医療の連携体制構築支援事業	■ 郡市医師会への医療介護従事者向け補助事業の実施(30郡市医師会)
医療人材課	①訪問看護体験実習の実施 ②新人訪問看護師の合同研修の実施 ③高度な医療に対応する訪問看護師の育成 ④訪問看護教育ステーションによる研修等の実施	① 参加者60人 ② 参加者 前期193人・後期136人 ③ 8人育成予定 ④ 研修等の実施30回
疾病対策課	○ 循環器対策推進事業【地域連携推進事業】 医療連携体制の構築に向けた取組を行い、急性期から回復期、生活期まで、患者の医療が一貫して提供される体制を構築を目指す。	■ 循環器対策推進事業 ① 生活期を支える介護職向け研修 (参加者 166名) ② 比企・秩父・北部地域の医療機関の看護職、かかりつけ医を中心とした勉強会を開催予定(3月) ③ 薬剤師を対象とした薬薬連携に関する研修会を2月に開催予定。

(2) 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

ク 治療と仕事の両立支援・就労支援

a 循環器病を経験した患者が、社会に受け入れられ、自身の病状に応じて治療の継続を含め自らの疾患と付き合いながら復職や就労できるよう、患者の状況に応じた治療と仕事の両立支援ができる相談支援体制の充実に取り組みます。

関係課	事業名及び概要	R7年度の取組実績等
雇用・人材戦略課	<p>○ 仕事と生活の両立支援事業</p> <p>病気治療等と仕事との両立に悩む勤労者を対象に相談を受け付け、情報提供を行うとともに、相談内容に合う具体的支援窓口へ橋渡しを行う。</p>	<p>■ 仕事と生活の両立支援事業</p> <p>病気治療等と仕事との両立に関する相談を受け付け、情報提供を実施</p> <p>相談件数:84件（令和7年11月末時点）</p>
疾病対策課	<p>○ 治療と仕事の両立支援のための相談支援体制の充実を図る。</p>	<p>■ 循環器対策推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 循環器病対策協議会(脳卒中部会)での協議 <p>■ 脳卒中・心臓病等総合支援センターにおいて、「脳卒中相談窓口連携会議」を開催し、全国で展開している両立支援調査について、PSC施設等と情報共有・意見交換を実施。</p> <p>■ 脳卒中・心臓病等総合支援センターにおいて就職支援、復職支援に関する相談窓口を設置。</p>

(2) 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

ケ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

a 子供の健やかな成育を確保するため、学校健診等の機会における小児の循環器病患者の早期発見を引き続き推進します。

関係課	事業名及び概要	R7年度の取組実績等
保健体育課	○ 学校健康教育推進費 （県立学校生徒等健康管理） 学校保健安全法で定める健康診断、結核健診、尿検査、心臓検診の実施。	■ 児童生徒の循環器病患者の早期発見のため、学校健診等を実施。

b 小児期から成人期へ切れ目なく適切な医療を受けられるよう、埼玉県移行期医療支援センターを設置し、移行期の循環器疾患に対応できる医療機関と連携して「移行期医療支援」を推進します。

関係課	事業名及び概要	R7年度の取組実績等
健康長寿課	○ 移行期医療支援体制整備事業 小児期から成人期への移行期にある小児慢性特定疾病児童等へ適切な医療と提供するため、小児期及び成人期の医療を担う医療従者間の連携などの支援体制の整備や患者の自律支援を行う。	■ 相談窓口の設置 ■ 移行期医療支援センターのホームページにおいて移行期に関する事項を周知。 ■ 関係機関等による意見交換の場を設け課題整理、取組の検討を実施予定（令和8年2月頃）。 ■ 患者の自立支援を促進するため当事者及びその家族向けのセミナー開催（令和7年度：85名参加）

(2) 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

コ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

a 循環器病に関する科学的根拠に基づいた正しい情報を提供するため、県と医療機関、関係団体等が協力して循環器病に関する様々な情報を収集し、県民に提供します。

関係課	事業名及び概要	R7年度の取組実績等
疾病対策課	○ 循環器対策推進事業 循環器病に関する知識の普及啓発を目的とし、県民向け公開講座、県広報誌(彩の国だより)への掲載、各種広報誌への掲載、ポスターチラシの作成・配布、県ホームページ・SNS等による啓発を実施。	○ 循環器対策推進事業 ■ 県民向け公開講座(1回・参加者数142名) ■ 県広報誌(彩の国だより)への掲載(11月) ■ 啓発チラシの作成・配布、年1回 ■ 県政広報ラジオ番組での発信(8月、10月) ■ 県ホームページ・SNS等随時更新・発信

b 各地域において、患者やその家族が、医療、介護及び福祉サービスに係る必要な情報に急性期から確実にアクセスでき、ライフステージに応じた課題の解決につながるような取組を推進します。

関係課	事業名及び概要	R7年度の取組実績等
疾病対策課	○ 循環器対策推進事業【地域連携推進事業】 医療連携体制の構築に向けた取組を行い、急性期から回復期、生活期まで、患者の医療が一貫して提供される体制を構築を目指す。	■ 循環器対策推進事業 ① 比企・北部・秩父地域の医療機関の看護職・かかりつけ医等を対象とした勉強会を3月に開催予定。 ② 生活期を支える介護職向け研修を実施(参加者166名)。 ③ 薬剤師を対象とした薬薬連携に関する研修会を2月に開催予定。 ■ 循環器病対策推進協議会等での協議

キ 社会連携に基づく対策・患者支援について（在宅療養への支援）

介護職向けのアンケートや研修で寄せられた声

	事前アンケートによる 「知りたいこと」や「不安」	研修後の声
緊急対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急性の度合の判断ができない不安がある ○ 主治医（嘱託医）や看護師への緊急連絡の最適な方法やタイミングを知りたい ○ 救急隊到着までの見守り対応のポイントは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急時に症状の見逃しを防ぎ、早期発見・対処の大切さを再認識した ○ 小さな体調の変化や異変に気づいたら、様子を見て放置することは避けるべきとのメッセージが印象深かった。
相談 主治医への	<ul style="list-style-type: none"> ○ 血圧上昇や浮腫、息切れなどの症状が続く場合に主治医や看護師に相談をするべきタイミング ○ デイサービス利用時に主治医から注意点をスムーズに聞ける体制がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主治医や看護師への相談のタイミングや連絡手段について具体的に学ぶことができた。
日頃の対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常的に注意すべき症状や兆候の把握方法 ○ 入浴時や酷暑・極寒日の安全対策 ○ 認知症などで症状を伝えにくい方の対応・判断方法 ○ 薬の飲み忘れや服薬状況が不明なときの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 脳卒中のサインや心臓病の症状について学び、見逃さないことの重要性を認識した ○ 入浴時や気候の変化時の注意事項、薬の服薬管理など日常の具体的な注意点が参考になった。